

<http://www.womensoutdoornews.com/2017/08/bette-midler-glenn-close-vera-koo-opportunity/>

Bette Midler, Glenn Close and Vera Koo: An Opportunity Not Missed

ベット・ミドラー、グレン・クローズとベラ・クー：逃さなかった機会

私はワクワクする事を体験するチャンスがあったら、例え都合があまり良くないタイミングでも、逃さないように周りの人にアドバイスをしています。チャンスは瞬く間に去って行くもので、もし逃してしまったら、次にいつ巡ってくるか分かりませんから。

今年初夏の時期にニューヨークブロードウェイの劇場ツアーに参加できることが分かった時、自分で言っていたことを実行しなければと思いました。



私の中で一年を通し最大の射撃イベントであるビアンキカップの二日後に現地ミズーリ州のコロンビアを後にしました。自宅のあるカリフォルニアに帰る時間はなかったので、ビアンキカップに必要なものとは別に、大会後に必要なものを詰め込んだスーツケースを持って行きました。ビアンキカップに使用するギア類はミズーリ州コロンビアにおいてニューヨークへ向かいました。

理想的なタイミングではなかったけれど、ちょっと無理してでも行く価値はありました。

旅程は6日間、そのうちの4日間でブロードウェイのショーを5作品観ました。そして、9.11メモリアルにも行きました。近代美術館にあるロバート・ラウシェンバーグの「アamong・フレンズ」展も観てきました。私の義理の姉妹にあたるドクター・ウイニー・ファンが同行したのが旅のボーナスでした。



この旅は時に私を内省的にし、ある時は影響を与えました。そして楽しいことがたくさんありました。とても価値のある旅だったと言っても過言ではありません。

国立9/11メモリアル&ミュージアム

ショーを観に行く前に、国立9/11メモリアル&ミュージアムを訪れました。9/11メモリアルと9/11メモリアルミュージアムという呼び方のほうが良く知られていますね。ここには2つの1エーカーの滝のあるプールがあります。これはアメリカで人が作った最大規模の滝です。あの日失われた国のシンボルであるツインタワーを象徴です。

この場所の至る所に建設に携わった人たちが全力を注いだことがわかります。亡くなった人々への敬いが、素晴らしい仕事を通して輝いています。

私はアメリカで生まれたわけではありませんが、人生のほとんどをアメリカで過ごしています。ほとんどのアメリカ人のように、2001年9月11日に自分がどこにいたのか覚えています。マッチに向けた練習のため、コロンビアのハンプトンインという宿にいました。当日の朝、朝食をとりに行ったところ、テレビの周りに数名人が集まっているのを見かけました。皆なにを見ているのか気になり、近づいて行きました。テレビのあるところへ行ったら丁度旅客機が2番目のタワーに突っ込んで行くところでした。

ミュージアムでは、ユナイテッド航空93便の旅客が最期に愛する人に電話をかけていた録音を聴きました。ミュージアムにいたみんなが目には涙を浮かべていました。

9/11の場所を訪れたことにより、無実の人々の命が失われた事だけでなく、イデオロギーの異なるグループが別のグループを煽るという歴史的に恐ろしい瞬間を知らされました。この世で起こった悪事を忘れず、この歴史が繰り返されないように戒めとして記憶しておくことが大切です。

その晩、私の重く熟考していた想いは、意欲的なものに変わっていきました。

ブロードウェイのネオンは眩い

ブロードウェイで観劇した5つのうち、最初「ハロー・ドリー」を観に行きました。それから「ハミルトン」、「サンセット・ブルバード」、「ウォー・ペイント」、「ナターシャ、ピエールと1812年の大彗星」を観ました。



ベット・ミドラーは「ハロー・ドリィ」でドリィ・リーヴァイ役を演じていました。彼女のパフォーマンスには感激しました。大学時代彼女のことをテレビで観たりしたのですが、いつも彼女のパフォーマンスを楽しませてもらっています。彼女は71歳になりますが、あの晩ステージでそのような年代にはとても見えませんでした、本当にすごい人です。

彼女の年齢であのような事をやり遂げるには、心から好きでないと出来ません。彼女が女優業を愛していることは明白です。彼女はパフォーマンスに全てを注ぎ込んでいます。彼女はステージで楽しんでいるようだと見受けました。

旅の後半、70歳のグレン・クロウズが主演ノーマ・デズモンドを演じる「サンセット・ブルバード」を観ました。常に彼女はすごい女優だと思っていましたが、こんなにも歌唱力があるとは知りませんでした。クロウズの歌声はアンドリュー・ロイド・ウェバーの「オペラ座の怪人」と「キャッツ」を組み合わせた異例の響きだった。

ベット・ミドラー、グレン・クロウズ、ベラ・クー

ミドラーとクローズのパフォーマンスにはかなりインパクトを受けました。 というのも、私も70歳で、射撃のキャリアをあとどのくらい続けるべきなのか、時々考えることがあるからです。

彼女たちは私にインスピレーションを与えてくれました。 自意識過剰になったり、自分が好きでやっている事を年齢のせいとやめる必要はないと思いました。 行きていくうえで年を取ることは当たり前のことです。 誰も逃れることはできませんが気は若く保つことができます。 情熱を持って追いかけていくことがポイントとなります。

ミドラーとクローズのパフォーマンスの間に、全米でヒットしたアレキサンダー・ハミルトンを扱った「ハミルトン」を観ました。 ショーを讚える評価の他はなにも聞いていませんでした。

うちの娘クリスティナは、観劇に備えハミルトンの経歴を教えてくださいました。 ミュージカルの音楽がラップと聞いて少し不安がよぎりました。 私はラップというジャンルの音楽は聞かないからです。 私にプロットが分かるのかしらと心配になってきました。

結局心配することなどありませんでした。 問題なくストーリーを理解することができました。 心配どころか、むしろ音楽とダンスはとても楽しいものでした。

出演者たちの集中力に感銘を受けました。 全出演者がそれぞれの役になりきってどっぷりはまっているのです。 彼らのエネルギーが伝わってきます。 情熱的に自分たちの仕事に取り組んでいる人々を見るのは素晴らしい体験です。

ショーの終わりに、カーテンコールで出演者たちが舞台に出てきました。 ショーの間は役になり切りますが、ショーを終えたら自分たちに戻った様子が分かります。



得られた機会

大学でアートを専攻していたこともあり、あらゆるアートが好きです。ブロードウェイのショーでも60年も展示されている新しいアプローチを試みたラウシェンバーグの作品でも。

とにかく、スケジュールを押してでも今回の旅行を実現させることができ嬉しかったです。たくさんの思い出をおみやげに帰宅し、新たな影響を受けやる気が沸いてきました。

さらにベラの記事を読むにはココ (<http://www.womensoutdoornews.com/category/won-guns/vera-koo-won-guns/>) をクリック。